

世代間交流八王子駅前サロンプロジェクト 2018

団体名 多摩大学梅澤ホームゼミナール
世代間交流八王子駅前サロンPJ
代表者 北島美希

① プロジェクトの目的

本プロジェクト(以下、PJと省略)は、八王子市地域包括支援センター旭町(以下、センターと省略)、八王子市民生・児童委員協議会第4地区民生委員(以下、民生委員と省略)と協力員、ボランティア、学生が連携して「駅前」という特徴を活かした高齢者のためのサロンの運営を行うものです。

八王子駅前にはビルが乱立する商業地域ですが、ビルオーナーとして独居する高齢者は意外に多く、近年は駅周辺再開発により高層マンションの新築が続き、移住された高齢者も増えています。このことから、PJは「多世代交流」をキーワードに高齢者が集える場(サロン)の運営することを目的としています。

第一の目標は、高齢者の方々がゆったりと過ごせて、多世代交流ができる「みんなのゆったりサロン」です。第二は、高齢者の皆さんに外出してもらい活動を活発にすること、健康長寿の一助となることです。第三は、「駅前」という利便性と特色を活かしたサロンの仕組みを考えることです。第四は、運営する側も多世代でつながり活動を継続することです。

② 活動の経緯

活動は2016年の春、八王子市側から「ゼミ活動を八王子市にも広げてみませんか。」と声をかけていただき、センター、民生委員の皆さんをご紹介いただいたことから始まりました。その後、協力員、ボランティアの方々も活動に加わって下さり運営側スタッフの幅が広がっていき、2016年6月から2019年1月まで約3年間で、のべ27回実施しました。

③ 活動内容

(1)開催場所・日時

場所はJR八王子駅前からお年寄りの足で徒歩5分の雑居ビル3階にあるセンターの一室(10畳程度のスペース)です。開催日時は、毎月第3木曜日午後2時から3時30分の90分で、年10回開催します。※2・8月は除く。

(2)連携団体の役割・活動内容

サロンの運営は、センター、民生委員、協力員、ボランティアの方々と学生で分担しています。民生委員、協力員、ボランティアの皆さんは、担当地区での高齢者サロン参加の呼びかけや当日の茶菓の準備・提供、歌の時間の選曲と演奏、おもてなし、交流等々を、センター職員は、場所の提供、受付、お帰り前の準備として体操指導、職員ならではの情報提供を担当して下さっています。

(3)学生の役割・活動内容

学生の役割は主に2つです。1つはサロンの司会、クイズ等の話題提供(PPTを活用)、参加者との交流、運営側の皆さんのお手伝い、次回のサロンを紹介するチラシやサロンを知ってもらうためのパンフレットの作成等です。その他には地域高齢者の生活実態やニーズの調査とそれに基づくサロンの改善案を提案していくことです。

④ 2018年度の活動報告・活動成果

(1)サロンの運営について

今年度は1月まで9回開催し、延べ136名の方にご参加いただきました。参加者が一番多かったのは5月の18名です。会場は運営側を含め最大でも30名までしか収容できないことから、1回の参加者も担当学生も増やせないということが課題です。

今年度の参加者の特長は、ご夫婦や友達同士など知り合いと連れ立っての参加が多くなってきたことです。また、民生委員の方々の声かけにより参加者の幅が広がっています。参加者は女性が多く、男子学生の参加を楽しみにしていることも特徴の一つです。一方、不活発な男性にどうしたら参加してもらえるかが課題です。

ゼミ内の体制の変化として今年度の企画はPJメ

ンバー3名が行い、サロン当日は梅澤ゼミが分担して全員活動することにしました。その結果、ゼミ生が担当PJを越えてさまざまな活動を体験ことができ、相乗効果が生まれました。また、多様な学生の参加は、参加者の皆さんに大変好評でした。昨年度までは7月と1月は試験期間と重なってしまうためサロンの運営ができませんでしたが、今年度は4年生が担当し、9回のサロンを全て企画・運営することができました。

これまで当日の茶菓のサービスは民生委員の方が行って下さっていましたが、今年度は学生も一緒に行うようにし、連携団体の皆さんからは大変助かると好評でした。

コンソーシアム八王子「学生企画事業補助金」を頂くことで、ハロウィン、クリスマス等、季節に合わせた装飾や物品等を購入することができました。独り暮らしの高齢者の方は、ハロウィンやクリスマスといったイベントに参加する機会が少ないため、サロンで季節の雰囲気味わってもらえるよう工夫しています。本日の話題、クイズ、PPTも季節に合わせて、毎月デザインを工夫しています。

今年度はセンター職員の方から参加者に色々な情報提供をしてもらおうコーナーも設けました。

(2)チラシ、パンフレットの作成

次回のサロンをお知らせするチラシは、開催日時を大きく見やすく記載し、八王子周辺のイベント情報を民生委員の方からご提供いただき紹介しています。その目的は高齢者の方々が少しでも外出する機会を持ち、外との交流を持って刺激を受けてもらうためです。サイズは、小さなバックに収まりやすく、家では冷蔵庫や玄関に貼りやすい「A5サイズ」です。以前はチラシのデザインを担当する学生が各自考えていましたが、「同じデザインの方が“サロン”とわかってよい」というご意見をいただき、基本のデザインは変更せず、季節感を出すように工夫しています。

パンフレットについては、月ごとの開催日の記載



を削除して「毎月第3木曜日」であることを明確に伝える書き方に変更し、サロン開催中の写真、「世代間交流」という本サロンの特徴、センターの場所を分かりやすく記載しました。パンフレットは、民生委員の方々を通じて個人や公共機関等に配布して頂いています。



⑤ 成果と課題

(1)参加者の声

「学生がどのような話題を提供してくれるのか楽しみにしている」「若い人と話すと元気がもらえる」「サロンのためにお洒落してきた」「月に1回の楽しみ」等々、多世代交流ならではの感想をいただいています。また「地域のサロンは噂話が出るので参加しない。」「人目を気にせずおしゃれをして参加できる。」「駅前サロンは、人付き合いも、話しの内容も、学生との交流も、日々の生活とは離れた環境なのがよい。」という声を聞き、私たちが気づかなかった本サロンの魅力が分かり勉強になります。

(2)学生側の成果と気づき、課題

先輩からPJを引継ぎ、3年継続することができました。学生企画事業補助金の選考会や報告会、市役所の方々の視察・見学等を通じての質疑応答は大変参考になります。「市長と語る(5/26:土)に呼ばれ、八王子市長と意見交換し、私たちの活動を直接伝えることもできました。

PPT、配布物の作成は、高齢者の目では見えにくい色や文字があることに気づき、2種類作成しました。「本日の話題」等PPTは、耳が遠い高齢者の方々でも内容が理解でき楽しめるようアニメーションや表現方法を工夫しました。活動中に参加者の反応を見て、改善点を見つけていくこと。運営では学生側が積極的に動き、高齢者の話を傾聴することが大事であることを学びました。

謝辞

サロンに参加・協力してくれた仲間、関係者の皆様、活動を支援して下さいている大学コンソーシアム八王子の皆様、心からお礼申し上げます。